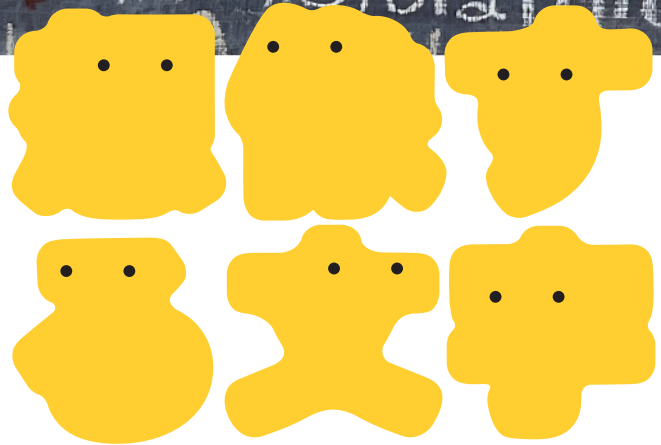


モジはソウゾウする。モジをソウゾウする。



Letters Imagine / Imagine Letters  
想像する文字展

**CONNECT ⇔**  
障害のある人もない人も、  
多様性や共生社会についてともに考える



詳細は web で  
ご確認ください。  
※「想像する文字展」は  
CONNECT の一環です。

2022.12.1(木) - 12.21(水)  
京都府立図書館 IF・BIF

時間 | 火~金 9:30~19:00  
土・日 9:30~17:00

休館日 | 月曜日

主催：龍谷大学ユネスコソーシャルビジネスリサーチセンター  
共催：京都府立図書館  
企画：松本 拓（研究員）  
HP: <https://ysbrc.ryukoku.ac.jp/>  
Mail: [ysbrc@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:ysbrc@ad.ryukoku.ac.jp)

# 想像する文字

Letters Imagine / Imagine Letters

## 想像する文字展

我々は文字を書き、文字を読み、文字で想いを伝える。文字にはそれぞれ意味があり、適切に組み合わせることで、文字はコミュニケーションの道具になる。では文字が意味から解き放たれたらどうなるだろう？<文字は想像する>文字は文字であることを止める。文字は自分のリズムで踊りだし、軽やかに歌いだす。自由になった文字は多様なイメージを生み出す。もはや文字は人間の道具ではない。<文字を創造する>道具としての文字には決められたカタチがある。多くの者は文字のカタチに囚われる。囚われるようにしつけられる。一方で自由な文字を創造できる人間がいる。彼らは文字と共に踊り、文字と共に歌う。彼らが描く文字は想像する。モジはソウゾウする・モジをソウゾウする。



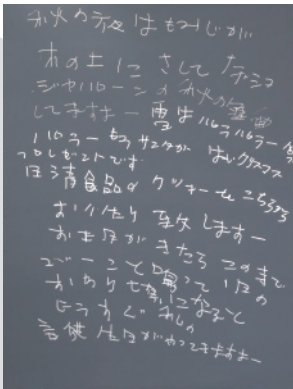
1



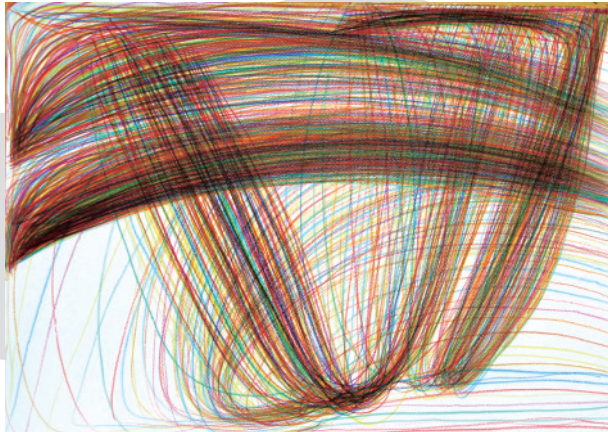
2



3



4



5



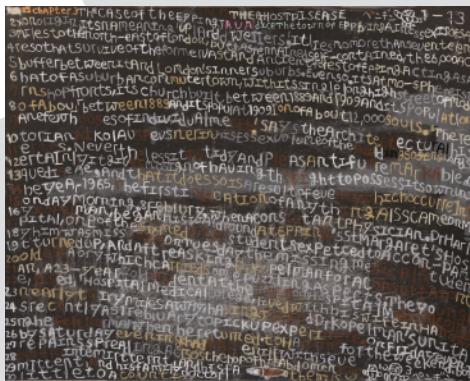
6



9



7



8

- 1、早野 紘平《絵画教室 2020年 今年で15周年 今年もイオン、鉄道、AKB48、乃木坂46、カラオケ、映画館 早野紘平 令和2年の新しい始まり》
- 2、上土橋 勇樹《無題》
- 3、南部 たき《きよいだいな、おっぱーい》
- 4、伊藤 樹里《音の風景 一秋と冬一》
- 5、中川 ももこ《ももこ》
- 6、大輔《無題》
- 7、中尾 涼《無題》
- 8、宮下 幸士《英語》
- 9、宿利 真希《お寺の「寺」》

※実際に展示される作品と異なる場合があります。



CONNECT ⇨

### 「読む 聞く 話す 本の色々なかたち」展

本の来歴をたどる展示、動画、ワークショップなどを行います。

詳しくは京都府立図書館 ホームページでご確認ください。→

京都府立図書館

TEL 075-762-4655 / FAX 075-762-4653  
〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町

同時開催



詳細は  
こちらから  
↓

障がい者の方の  
アート展を一緒に  
開催しませんか。

企業、学校、病院など  
どこでも開催可能です。  
ご興味ございましたら  
下記までお問合せください。

龍谷大学ユエスソーシャルビジネスリサーチセンター  
ysbrc@ad.ryukoku.ac.jp